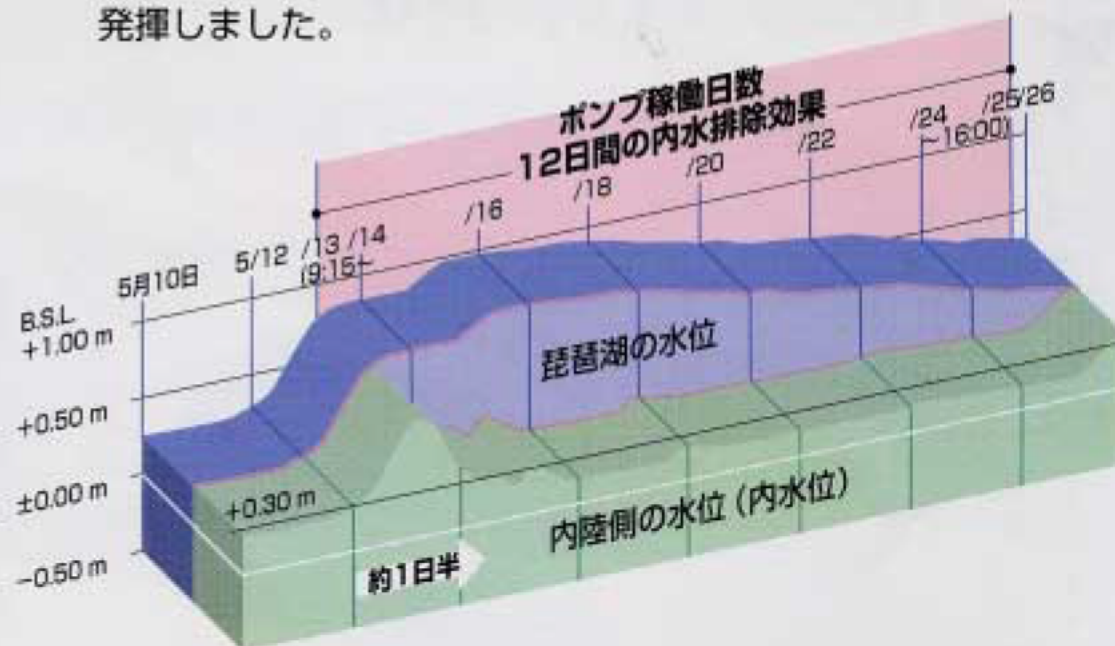


内水排水流域(A)→現状(琵琶湖の効果)

内水排除の働きで、湛水時間は大幅に短くなりました。

平成7年の洪水で、琵琶湖開発事業完了後はじめて、14箇所すべての内水排除施設を12日間動かして水を汲み出しました。その結果、湛水時間が大幅に短縮され、その効果を発揮しました。



<平成7年5月 湖水位と内水位の変化グラフ 大同川 排水機場の場合>

出典:洪水の被害を大きくしないために
水資源開発公団 琵琶湖開発総合管理所

③浸水形態・それ以外の流域(C)

